

XRISM core-to-core Science Workshop 2022

COVID-19 Infection control manual

XRISM core-to-core 事業での最初の研究会になります。ここでコロナ感染クラスターを出すと、今後の事業の展開に大きな支障がでます。今回の埼玉大学での開催は、開催地の感染マニュアル、および、本学保健センターの指示に従って対策を講じます。(リンク：http://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/covid19manual0104028.pdf)。

気を緩めず、感染対策を徹底したうえで、適切に研究交流を行いましょう。

全般

- 【参加者】常時、不織布マスク着用のうえ、1 m 以上の距離を保つ。
- 【参加者】適宜、アルコール消毒を徹底する。
- 【参加者】入室時は入口で検温し 37.5 度以上の場合は入室を遠慮。(入室禁止、運営委員に連絡)。
- 【参加者】会議開催開始日から 2 週間以内に 37.5 度以上の発熱がある場合は、対面での参加を遠慮。運営委員に連絡の上、遠隔に切り替える。また、会期中、コロナ感染が疑われる場合はすみやかに運営委員に連絡の上、遠隔参加に切り替える。
- 【参加者】着席時(座席を移動する場合はつど)、各席に貼ってある座席番号をフォームで登録。
- 【運営】アルコールの使用状況を随時確認し、空の場合はすみやかに補填する。
- 【運営】上記を守るように確認をし、適宜対応を取る

講演時間

- 【参加者】講演会場(シアター教室)内は飲食禁止
- 【参加者】ショートトークで共用 PC の使用後は、各自でアルコール消毒。
- 【運営】講演者マイク、質疑応答時用マイクは、つど、アルコール消毒
- 【運営】ショートトーク終了後は共用 PC とレーザーポインター等はアルコール消毒
- 【運営】講演前後のドア解放の確認・換気・消毒
- 【運営】着席位置の記録のため、1 時間に一度程度、会場の写真を記録する。

休憩時間

- 【参加者】飲食時のみマスクは外してよい。ただし黙食。対話相手が飲食時も黙、マスク着用。
- 【運営】事前事後にアルコール消毒を行う。
- 【運営】大型扇風機による換気を実施する。
- 【運営】飲み物はペットボトルや缶の形態でのみ提供。ポットによる飲料の提供は行わない。
- 【運営】菓子類は、埼玉大学羊羹など個包装のもののみ提供する。

昼食時

- 【参加者】 飲食する際は黙食を徹底し、ソーシャルディスタンス1mを確保する。
その他は、カフェテリアの規則に従う
- 【運営】 会場の大型扇風機による換気を実施

交流会

- ~~【運営】 軽食を提供するならば、飲食と交流の時間を分離する。交流会冒頭の30分程度を飲食時間とし、後半1.5時間を交流の場とする。前半の飲食の時間は、(ビュッフェ形式はとらず) 各大に弁当とペットボトルを提供する。アルコール類や大皿のケータリング軽食、ピザ等の提供は行わない。立食ではなく着席いただく。後半の交流の時間は、個包装の菓子類やペットボトルの飲食を提供する。~~
- 【運営】 軽食は提供せず、個包装の菓子類を提供する。
- 【参加者】 飲食する際は黙食を徹底し、ソーシャルディスタンス1mを確保する。
- 【運営】 飲み物はペットボトルや缶の形態でのみ提供。ポットによる飲料の提供は行わない。
- 【運営】 事前事後にアルコール消毒を行う。
- 【運営】 大型扇風機による換気を実施する。

※コロナ感染が判明した場合の対応

- 【運営】 埼玉大新型コロナウイルス感染症対応マニュアル、page 35~37 に従い報告する

以上